



日野川中流部、日野町内にある日野川ダム

滋賀県日野町立西大路小学校

日野川エコスクール～綿向山から琵琶湖までの環境学習プログラムの開発と指導～

日野川全域の環境・文化を調べる

川でつながるコミュニティスクール

「日野川エコスクール」は、滋賀県南東部の綿向山から琵琶湖に注ぐ日野川流域の12の小学校などが連携した環境学習プログラムだ。代表校である日野町立西大路小学校の児童は、2021年度の中谷財団成果発表会でポスター発表を行い、奨励賞を受賞している。

担当の井阪尚司講師は「児童は自分の住んでいる流域以外の自然や文化をあまり知らない。そこで、日野川でつながったコミュニティスクール的なものがないかと考えました」と活動の動機を話す。研究では、環境省が提唱する「自然なすがた、ゆたかな生きもの、水のきれいさ、快適な水辺、地域とのつながり」の5つを統一指標として、各校が水質や生物調査、地域の人たちからの聞き取り調査などを行った。



6年生のメンバーと武久世紀子校長(後列右)、担任の西村友佑教諭(後列左)



成果発表会で奨励賞を受賞(2021年12月)



- 実施担当
井阪尚司 講師
- 活動のモットー
スローガンは「たんけん、はっけん、ほっとけん」。自ら動いて見つけ、問題を解決する。ここに主体的な学びのすべてが詰まっている。

学校概要

教育目標は「学びいっぱい(知) やさしさいっぱい(徳) 元気いっぱい(体)」。
2023年に創立150周年を迎える伝統校。

設立: 1873年
生徒数: 81人
所在地: 滋賀県蒲生郡日野町西大路1631番地



生物調査(源流)



生物調査(中流)



グループで調べ学習

ゴールは地元を好きになること

当初、活動は「総合的な学習の時間」などで進められた。21年度に西大路小5年の担任を務めた藺林広教諭は「地域の川の現地調査を重ねた児童は、次第に自分たちが興味をもったことを調べるようになり、たとえば、粘土を使って古琵琶湖層モデルの地殻変動を再現したり、プランクトンの増殖に関する実験を試みたりと、主体的に探究する姿が顕著に見られた」と話す。

1年間の活動を経た現6年生たちは「源流はとても冷たかった」「絶滅危惧種のニホンイシガメが住んでいる」「日野川の良さをたくさんの人に知ってほしい」「そのためにイベントに仲間を誘い私も参加する」「外出の時川が汚れていないか気になる」などの感想を聞かせてくれた。これを聞いた藺林教諭は「総合の時間のゴールは、自分たちの町を好きになることだと考えていますので、『わが意を得たり』といったところですね」と狙いどおりの結果を喜んでいた。(プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索